

広がる テレビ・アーカイブ活用の 可能性

研究・教育の実践例・先行事例から考える

近年、映像アーカイブ、放送アーカイブ、関連の各種アーカイブの整備が進むとともに、研究・教育機関や関連組織相互の連携等も進んでいる。そしてそれらのアーカイブを活用した研究・教育が活発化するなかで、さまざまな可能性が広がりつつある。日本大学法学部新聞学研究所でも東日本大震災を機に、震災関連の映像、その他のテレビ番組映像のアーカイブを構築しつつ、その研究利用・教育利用の両面において試行錯誤を続けてきた。本シンポジウムでは、研究、教育の各分野における実践例、先行事例に学びながら、テレビ・アーカイブ活用の可能性と課題を考えたい。

2020 3.7 SAT

14:00～17:00 (13:30開場)

日本大学法学部
10号館 1031講堂

東京都千代田区神田三崎町2-3-1

<https://www.law.nihon-u.ac.jp/access.html>

参加無料、事前申し込み不要



プログラム

第1部 **報告** (研究・教育活用の事例)
14:00～15:15

第2部 **パネルディスカッション**
15:25～17:00

登壇者

小林 直毅 法政大社会学部教授
水島 久光 東海大学文化社会学部教授
西田 善行 奈良県立大学共同研究員
鳥羽 耕史 早稲田大学文学学術院教授
鈴木 貴尚 放送番組センターアーカイブ・事業G副主幹

司会

米倉 律 日本大学法学部教授

主催：日本大学法学部新聞学研究所